



トップライトから明るい光が差し込むリビングの吹き抜け。一日中明るい光が入るので、日が落ちるまで部屋の電気をつけなくてすむ



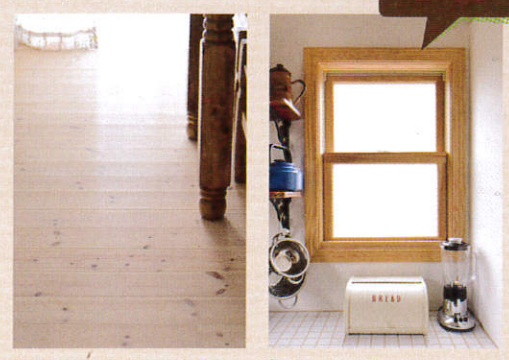
・自然塗料で塗った面材  
キッチンには木の面材を使い、「バターミルクペイント」で白く塗装してLDKの雰囲気と合わせた。取っ手はガラス素材のものを施主支給



+αの工夫点

照明の取り付け器具を隠すように化粧梁を配置  
キッチンにはデザイン違いの照明を設置。照明の引っ掛けシーリングの奥に梁を配し、LDから設置部が見えないように工夫

片岡さんの素材アレンジ



家族で塗った床。塗りむらや足跡も良い個性に  
ナチュラルな木枠の窓を採用して窓枠をセルフ塗装

自然塗料「リボス」を使い、パイン材の床を白く塗装した。「塗りむらや子どもの足跡も、思い出のひとつとして愛着がわきます」と奥さま  
窓枠はナチュラル感のある木製をセレクトして、施主施工で塗装した。壁や床を白にしたぶん、窓枠は木の風合いをそのまま残してクリア塗装にした



・名古屋モザイクのタイル  
キッチンにはエッジが不揃いになったページュのタイルを採用。新品ながら使い込んだような味わいを出すことに成功した

家中の床と窓枠を塗装した愛着たつぷりの住まい

長女の小学校入学に合わせて新居を構えた片岡さん。「こんな家に住みたい」と、奥さまがひと目ぼれした家を施工した会社へ依頼して家づくりを始めました。  
まずこだわったのは、自然素材をふんだんに使ったナチュラルな雰囲気。LDKはもちろん、家中の内装材はすべて自然素材

を使っています。「子どもにとって安心できる素材を使いたかったので、自然素材であることは譲れませんでした」と奥さま。加えて、家中の床と窓枠をすべて家族みんなで塗装。素人ならではの塗りむらやうっかりついた足跡が住まいに個性を生み出し、家に対する愛着も深まりました。結果、コストダウンにつながったのもポイントです。また、アンティークショップで少しずつ買集めた建具や照明、ステンドグラスなどのアイテムを施主支給して、白でまとめた空間に味わい深いアクセントをプラス。いつまでも飽きのこない家、という理想の住まいが完成しました。「どこを見ても自分の好きなものに囲まれて、家で過ごす時間が楽しいです」と夫婦で声を揃える、見た目も居心地の良さも大満足の家ができました。

Part.2 素材アレンジで住まいをセンスアップ

「自然素材にこだわりながら、もっと自分らしさが光る家になりたい」。素材にアレンジを加えて個性をプラスすれば、家への愛着ももっと湧いてきそう。家づくりの参考にアイデアをチェックして。



白を基調に木や緑の色味をアクセントに効かせたLDK。キッチン白い板張りにして、質感に変化をつけた

施主塗装の塗り跡で味わいと個性をプラス

Part.2 Case 01 片岡さん



2階のホールにはダイニングで使っている照明とサイズ違いの照明を設置。長男と長女の部屋は対称になるように間取りを設計した



健康面で安心な自然素材を使った子ども部屋。床に無垢のバイン材、壁に「テラ・デコール」を使い、床と窓枠は自分たちで塗装した



多機能に使える  
ヴォレーを  
室内にも設置

一般的に外壁につけるヴォレーを室内にも設けた。木の風合いが室内のアクセントになるほか、ピンやフックをつけてカーテンを掛けるなど便利に使える

片岡さんの  
素材  
アレンジ



・「テラ・デコール」の塗り壁

「テラ・デコール」で塗った壁に雑貨を飾るニッチを設けた。粗くくり抜いたような形状が、手作り感のある家の雰囲気にぴったり



ぬくもりある塗り壁にアンティーク雑貨を合わせた階段。照明やステンドグラスのほか、施工会社に依頼してパイプの手すりをつけた



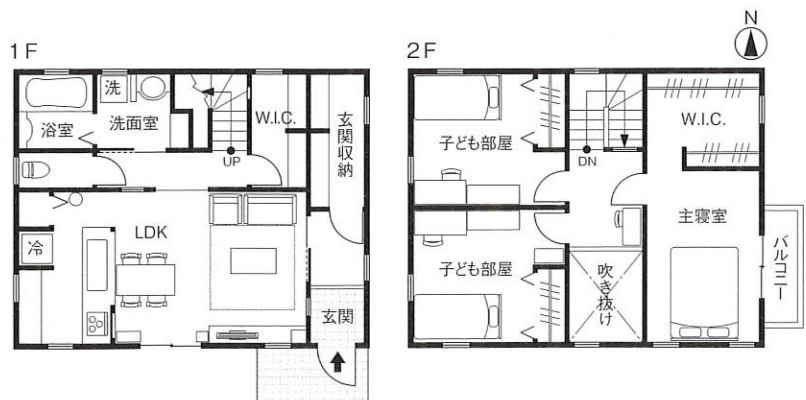
天窗から入る光で2階ホールも明るさ満点。手すりが光と風を通し、シーリングファンの効果で1階のエアコンで家中あたたかい

Data

- 家族構成  
夫婦+子ども2人
- 敷地面積  
274.83㎡(83.13坪)
- 建築面積  
52.17㎡(15.78坪)
- 延床面積  
1F/52.17㎡(15.78坪)  
2F/48.02㎡(14.52坪)  
合計/100.19㎡(30.3坪)
- 設計、施工  
エフリッジホーム



ブルーグレーのヴォレーがアクセントになっている外観。ご主人がアオダモなどを植えた庭は、子どもの遊び場としても重宝



右/玄関とリビングから見える壁にステンドグラスを設置。アクセントカラーである緑と赤の柄のものを選んだ 左/必要な通気のためにつくった壁の開口部には、アンティークショップ「オールドフレンド」で購入した窓をはめ込んだ。ハンドルで開閉し、壁面のアクセントにもなる



Case  
01

片岡さん



+α  
の工夫点



壁と天井は天然素材の壁材「テラ・デコール」で塗った。調湿や消臭作用もあり、部屋に入ったときに空気のこもった感じがなくてさわやか

アクセントカラーとして  
緑色のアンティークを投入

上/床や壁を白でまとめ、好きな緑色のアンティークアイテムをバランスよく散りばめた。リビングの照明は小さめのシャンデリアをセレクト下/「オールドフレンド」で見つけた1938年製のアンティークドア。本来は引き戸用だが、省スペースで使える引き戸として設置した

雑貨は収納を兼ねるなど実用性で選ぶことが多いと言う奥さま。キッチン横のニッチにはお気に入りの雑貨をディスプレイした



造作のテレビ台には、仕切りの幅びつたりのカゴを合わせた。ナチュラルな雰囲気を壊さずにDVDデッキやゲームなどを収納